

★原付免許試験ガイド4★

③原付の名称と機構 2.

⑥チェンジペダル

ギヤを入れ替えるためのペダルです。左ステップの前部に付いています。
自転車と言うとギヤを変えるレバーやグリップと同じです。

★関連用語…

1、ギヤチェンジ

ギヤを1速→2速へと入れ替えること。

2、シフトダウン

ギヤを3速→2速→1速へと下げていくこと。

エンジンプレーキを効果的に使うときに良く使われます。

⑦ギヤ

低速・高速・上り坂等、エンジンの力を効果的に使うための歯車です。
チェンジペダルを操作して切り替えます。

各ギヤの特性(力・速度)と使用方法

各ギヤ	力 [エンジンブレーキ]	速度	使用方 法
1速(ローギヤ)	強	低	発進や大きな力が必要なとき
2速(セカンドギヤ)	中	中	加速・減速・坂道を上るとき
3速(トップギヤ)	弱	速	通常走行等発進時や大きな力が必要ないとき
ニュートラル	ギヤが入っていない空回りの状態。エンジンを掛けるときや信号待ちで止まる時はニュートラルにします。		

⑧ウインカーランプ

バイクが(四輪車も同様)進路を変えるときや曲がるときには、あらかじめ曲がる(変える)方向を周りに知らせる必要があります。

その方向を点滅して知らせるのがウインカーランプです。

「方向指示器」、「フラッシャーランプ」とも言われます。

⑨ヘッドランプ

夜間前方を照らす照明のこと。前照灯とも言います。

最近のバイクは、エンジンを掛けるとヘッドランプが点灯するようになっています。

これは、混合交通の中でバイクは外観も小さいので目立ちにくく、それが原因で事故に

巻き込まれる場合があり、少しでも目立つようにとすることでメーカーが昼間点灯(ちゅうかんてんとう)仕様に行っているからです。

⑩マフラー

排気ガスが出る場所の少し手前の膨らんでいるところです。

消音器とも言い、排気音を小さくしたり、最近では排気ガスをきれいにしたりしているところです。

マフラーが外れたり穴が空いたりすると、排気音がおおさくなくてまわりの人に迷惑を掛けますので、すぐに修理をする必要がありますし、運転してはいけません。

⑪警音器

クラクション、警笛とも言います。

街中では、多様な使い方をしてはいますが、本来は「危険を避けるためやむをえない場合」と「警笛鳴らせや警笛区間の標識がある場所」で使用するもので、それ以外は鳴らしてはいけないことになっています。

⑫その他(エンスト)

ギヤ付、クラッチ付のバイクで、発進時クラッチのつなぎ方(離し方)が悪いとエンジンが停止してしまいます。この現象を「エンスト」と言います。

2速、3速へシフトチェンジするときはエンストしません。

発進時のような大きな力を必要とするときは、クラッチをなめらかにつながないと(離さない)エンストしてしまいます。

エンストしても、エンジンを再始動すればすぐ走行できます。